

アルザフォーラム 2018

報告集

＼見つけよう／

シェアワセの新しいカタチ

2018.11.10（土）～18（日）

主催／アルザフォーラム 2018 実行委員会・新潟市



主催者あいさつ



本日は、アルザフォーラム 2018 基調講演にご参加いただき、ありがとうございます。

今年は「見つけよう シアワセの新しいカタチ」をキャッチフレーズに、犬山紙子さんと劔樹人さんご夫妻を講師にお迎えしております。結婚や子ども、夫婦のあり方、仕事のことなど、固定観念にとらわれず、新しいシアワセのカタチを実現しているご夫婦です。誰もが抱えている迷いや葛藤、そんな人生の分岐点に出くわしたお二人が、これまでどのように向き合い、シアワセを見つけてきたのかをお話しいたします。

このアルザフォーラムが皆様にとって新たな気づきを得て、皆様が思い描くシアワセを掴むきっかけとなるよう願いまして、ごあいさつといたします。

アルザフォーラム 2018 実行委員会
副代表 菅井 佑美子



本日は、アルザフォーラム 2018 の基調講演に大勢の皆様からお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

アルザフォーラムは、男女共同参画社会を目指して今回で 23 回目を迎えます。これまで実行委員の皆様、そして市民の皆様のおかげで続けていただいたことは、大変ありがたく思っております。

男女共同参画社会に向けて様々な取り組みが行われていますが、本当の男女共同参画というところまではいっていないのが日本の現実ではないかと思っています。すべての人が、個として自ら目指すものを実現できる、そんな新潟を皆様とともに作ってまいりたいと思っています。

今日の基調講演では、犬山紙子さん、劔樹人さんご夫妻から「シアワセの新しいカタチ」ということでご講演をいただきます。よりよい家族のかたちや、現代における男女共同参画の在り方について考える、そんなきっかけにさせていただくことをお願い申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。

新潟市長 篠田 昭

アルザフォーラム 2018

参加延べ人数 1,189 人

開催日	区分	催し物	主催者	参加人数	ページ
11/10 (土)	基調講演	犬山さん家に聞いてみた。 ～結婚・こども・仕事・夫婦のどうしよう～	アルザフォーラム実行委員会	154	3～6
11/24 (土)	分科会 1	若年妊娠とその背景 ～性教育とデートDVの重要性～	アルザフォーラム実行委員会 共催：女のスペース・にいがた	50	7
11/27 (火)	分科会 2	仕事も私生活も欲張る ～Work×Life×Social で Hybrid 人生～	アルザフォーラム実行委員会	206	8
11/17 (土)	DVD 上映会	マイ・インターン	アルザフォーラム実行委員会	45	22
11/10 (土)	ワーク ショップ	ファシリテーター型リーダーシップ	NPO 法人 日本ファシリテーション協会 新潟サロン	14	9
11/11 (日)		『幸せを考える』－年を重ねる喜びと感謝－	イキイキ健康ふれ愛クラブ元 気塾	19	9
11/11 (日)		手ぶらで読書会～Empty-Handed Book Club～② 『くまのトーマスはおんなのこ』『たまごちゃん、たびにでる』	Mia	2	10
11/11 (日)		コラージュでストレス解消！！ ～あなたも体験してみませんか～	放送大学心理臨床研修会・新潟	5	10
11/11 (日)		貫太郎さん親子と語ろう ～発達障がいと共に生きる～	カトレア会	24	11
11/14 (水)		心と身体の健康づくり“操体法とタッピング 講座”	NPO 法人 ライフ・アクセス 21	24	11
11/15 (木)		笑いがあなたを健康にします！ (笑いヨガ体験会)	NPO 法人 健康生きがいがづく り新潟	25	12
11/17 (土)		子どもの安心・安全を守る ～いじめの被害者にも加害者にも傍観者にもしない～	NPO 法人 子ども・人権ネット CAP・にいがた	4	12
11/17 (土)		DV・虐待・セクハラ等の根絶をめざして ～非暴力コミュニケーションを学びましょう～	NPO 法人 ウィメンズサポ ートセンターにいがた	12	13
11/17 (土)		世界一男女格差の少ない国 アイスランドを 訪ねて	(一社)国際女性教育振興会新 潟県支部	27	13
11/17 (土)		ポジティブな私になるコミュニケーション	ホワイトボードミーティング ®チーム新潟	7	14
11/17 (土)		“防災カフェ” in アルザ ～からだをほぐすワークショップ～	わいわい夢工房	6	14
11/17 (土)		若年女性への性暴力 ～性暴力被害に絡めとられないために～	NPO 法人 女のスペース・に いがた	28	15
11/17 (土)		カーリンコンの楽しさがあなたを健康にします！	新潟県カーリンコン協会	8	15
11/17 (土)		LGBT って何だ？	にいがた女性会議 男女平等 教育部会	13	16
11/17 (土)		みんなで作ろう！おしゃれ可愛いエコバックケース	新潟市消費者協会新潟支部	20	16
11/17 (土)		親と子のための防災ワークショップ	NPO 法人 ワーキングウイメ ンズアソシエーション	19	17
11/18 (日)		崖っぷち家族のハーモニー	劇団あかつき	51	17
11/18 (日)		住み慣れた地域で最後まで生きる パート2	にいがた女性会議 介護・自立 部会	30	18
11/18 (日)		新潟の国際化と女性・子どもの人権擁護 ～医療・子どもの学習支援の取り組みから～	にいがた女性会議 子どもの 人権・子育て支援部会	16	18
11/18 (日)	はじめてのメンタリング講座	NPO 法人 新潟キャリアコン サルト協会	10	19	
10/27 (土)	協賛事業	にいがた女性会議設立 30 周年記念事業 男女平等社会をめざして 未来へむけて共に歩もう	にいがた女性会議	159	19
11/11 (日)		演劇 みなと女一揆 ～廓に生きた女たち のご案内～	劇団 blue ジーンズ	177	20
11/11 (日)		子どもの声を聴く ～DV や虐待が子どもに及ぼす影響からの回復～	NPO 法人 新潟フェミニスト カウンセリングセンターまど	34	20

「犬山さん家に聞いてみた。」
～結婚・子ども・仕事・夫婦のどうしよう～

第1部 犬山紙子さん(イラストエッセイスト) 講演
 第2部 犬山紙子さん・劔樹人さん(ミュージシャン・漫画家) 夫婦対談
 進行: 鴨井理紗(アルザフォーラム2018実行委員)



第1部 犬山紙子さん 講演

【はじめに】

33歳で結婚してから、私は自分で子どもが欲しいかどうかわかりませんでした。それまで、女性といえば、自然と子どもって欲しくなるものなのかなと思っていましたが、自分は全くそういう気配がありませんでした。そこで、周りの人に話を聞いてみると、みんながみんな自然と子どもが欲しくなるわけではないと。そこからいろいろな立場の方に話を聞いて、自分の意見を固めていこうかなと思いを執筆しました。

【子どもを育てることへの不安】

私はできればずっと働き続けたいと思っていますが、女性が働きながら子どもを育てることに対するネガティブな現状が耳に入ってきます。例えば、そもそも子どもがスムーズにできるかどうかわかりません。もしできないとなった時に不妊治療をしようとする、年齢的なことや金銭面の負担、また体の負担も大きいです。

やっと妊娠できましたとなっても、初期の段階では流産の可能性もあり、なかなか職場に言えないということもあります。

その次は保育園ですね。私の場合は、妊娠5カ月に入って保育園の資料を取り寄せたのですが、認可保育園10か所に希望を出して全部落ちました。

「0歳から保育園に入れてかわいそう」と言われてすごくつらかったという話も聞きました。発熱のたびになぜか母親ばかりが迎えに行かなければいけないという現状。希望の部署から外されて、仕事に対するやりがいを奪われてしまうこともあります。

それから、夫が家事・育児の分担をうまくやれていないと夫のことを嫌いになってしまうという話も多く

聞きました。子ども一人育てるのに2,000万円位かかるよと言われた時には、この不安定なフリーランスの仕事をしている私がそれを払えるのかなと。

【いろいろな方に話を聞いてみた】

とにかく不安がすごかったです。なので、いろいろな立場の方に話を聞いていきました。専業主婦の方、働きながら子どもを育てている方、シングルマザーの方、同性愛の方、そういった方達がどうやって子どもを育てているのか。それから子どもを持たないという選択をされた方、もう子育てが終わった方にも話を聞きました。

【たくさん話を聞いて見えてきたこと】

その後、私は無事妊娠して、出産しました。そんな中で、たくさんの方に話を聞いて見えてきたことがあります。それは、とにかく周りのサポートなしでは育てられないということです。日本人って他人に迷惑をかけるな、自立しろってすごく教えられて育ってくるんですね。でも、人間誰しも弱る時、大変な時があります。そんな時、素直に周りに助けをくださいと言える。そして逆に困っている人を見かけたら、自分から助けますよって言える。それができるところこそが本当の自立なのかなと最近私は感じるようになってきました。

これから子どもを持つと思っている方から相談されることがあるのですが、その時に一番最初に話すのが、とにかく人に頼ってねということ、ワンオペ育児なんてとてもできることじゃないということです。私の場合は、夫とふたりで子育てをしています。夫も仕事をしているので、どうしても大変な時があります。特に家事をこれまでどおりやろうとすると本当に大変なので、シルバー人材センターのサービスを使って家事をだいぶ楽にしています。それでもどうしても大変な時は、夫のお母さんや友達に来てもらって、すごく

助かっています。いろいろな方に助けてもらうことで、今私は仕事をして、育児をして、プライベートな時間を持つことが可能になっています。

年配の方から「みんな頼ってね」と言ってもらえると、子どもも産みやすく、育てやすい社会になっていくのかなと思っています。

【アンケートから】

さらに、いろいろな方にアンケートをとったので紹介します。まず働く女性が妊娠中言われて嫌だったことは、「妊娠は病気じゃないからもっと動け」これは経産婦の方から言われたそうですが、妊娠中の大変さって本当に個人差があるので、それはおかしな話です。「うちの妻はバリバリ働いていたからあなたもできるでしょ」というのもありました。大変だったことは「会社で横になれるスペースがほしかった」「通勤ラッシュがきつい」「理解のない上司がいて、出張に行かされた」など。妊娠中の働く女性は大きな不安を抱えているということを周りがちょっと心の中に留めておければと思います。

また、専業主婦は悠々自適でうらやましいと思われがちですが、アンケートでは9割の方が「働きたい」と答えています。「保育園に入れられなくて働けなかった」とか、「2人目の子ども産んだ時点で働くのをあきらめた」とか、「働きたいけれども今は専業主婦」という方がかなりいることがわかりました。どうして働きたいかというやはり収入ですね。「収入がないので社会的地位が低いように思ってしまう」「評価されない」「夫のお金で買い物しづらい」という意見がたくさんありました。でも家事って立派な労働です。外でやれば家事代行サービスとしてそこそこ高い時給がもらえる仕事です。数字で出ないので、自分は収入がないと思ってしまうがちですが、夫の給料は家事があって成り立つもの。つまり2人のお金です。でも「夫のお金で高いランチなんか食べて」とか言われてしまうので、専業主婦に対してのそういった印象が無くなったら、もっと生きやすくなるのかなと思います。

それから、子どもを持たない選択をされた方にも話を聞きました。ほとんどの方が「子どもを持たないことによる迷いや悩みは特にはない」と答えています。

女性だから感じる生きづらさというものは、まだまだあります。でも、話を聞いた方達は、みなさん生き生きとしていました。自分の人生に自信を持って、信念を持って生きることができれば、それは必ず幸せにつながる、と私も思えるようになりました。

【最後に】

私は今、児童虐待防止に向けて活動しているのですが、児童虐待防止の中で一番のキーワードは「孤立」です。母親が孤立してしまって誰にも頼れない、そんな中でフラストレーションが子どもに向かってしまう。子どもも孤立しています。誰にも助けを求められない。この「孤立」を防ぐことが本当に大切だということ最近痛感しています。人に助けを求める、人とのつながりを持つということは、甘えではなくて、本当に必要なことです。また、シングルマザーの2人に1人は貧困だそうです。貧困と虐待もかなり密接な関係にあります。女性が子どもを育てながら働きやすい社会というのが、虐待をなくすためにとても大切なことだと感じています。将来の子どもたちのためにも女性が働きながら育児をしやすい、そして、夫も当たり前育児をする社会になってほしいと思います。

第2部 犬山紙子さん・劔樹人さん 対談



【結婚について】

進行：今日はお二人に結婚・子ども・仕事・夫婦のどうしようということで、いろいろなお話をお聞きしていこうと思います。前方のスクリーンに劔さんの著書の『今日も妻のくつ下は片方ない』のマンガを映しながらお話していきます。まず、最初にお二人の結婚の経緯を教えてください。

犬山：共通の友人を介した飲み会で会って、友人同士だったのですが、私に卵巣の病気が見つかった時にすごく支えてくれたんです。それで最高だなと惚れ惚れしまして、私の方からプロポーズした次第です。

進行：マンガに犬山さんがプロポーズした時に、劔さ

んのセリフで「そんなお金ないよ。収入が月10万円すらないというのに」というのがあって、剣さんはどういう気持ちで「はい」と答えたのですか。

剣：記憶があやふやになってきているのですが、収入が少なかったのは間違いないです。

犬山：会社を辞めてフリーになりたてで、収入が激減した時でした。男性って収入が少ないとプロポーズを言い出しにくい雰囲気があり、女性側は収入がなくても言えるのに、変な話だなと思います。でも夫の性格を考えるとプロポーズしてこないと思ったので、ここは私が言おうと思いました。

剣：本当に結婚指輪が買えないですからね。

犬山：でも、その分家事をたくさんやってくれて、私は仕事に打ち込めたので、結婚指輪よりも断然家事をやってくれる方がいいですね。

【家事分担について】

進行：ちょうど今家事のお話が出たのでお聞きしたいのですが、基本的に仕事は犬山さんがメインで、家事は剣さんがということですよ。今、お子さんが生まれて状況が変わっているかもしれませんが、家事はどのように分担していますか。

犬山：子どもが生まれる前は、私が家賃や生活費を出す代わりに家事お願いねというのがお互いの仕事量的にできました。子どもが生まれて、育児をお互いしながら家事全部を夫がやるとなると、明らかに私の方が楽になるので、そこは見直しました。シルバー人材センターの方に週2、3回、2時間ずつ来てもらって、そこでかなり家事を担当してもらっています。あとご飯を作るということも諦めて、外食を増やしたりしています。

剣：以前はお弁当も作ってました。でもさすがに子どもが生まれてからはできないですね。

進行：分担を見直したとのことですが、お二人で話し合っていたのですか。それとも自然にですか。

剣：すごく話しました。彼女が、何か心配事があると本を読んだり専門家の意見を調べて決めるタイプなので、子どもが生まれる前からこうなったらこうしようという提案がすごかったです。

犬山：と言うとすごく聞こえがいいんですけど、離婚されなくなかったのが一番大きくて。子どもが生まれても、相変わらず家事は全部、夫のままだと、それは世の妻達が夫に対して「むかつく」と言っているのと同じことを、性別が逆だけでやっていることになる。それをやってしまっ

たら、夫はたぶん私のことを嫌いになるだろうと思いました。

剣：本当に今、シルバー人材センターの人に来てもらわないと、僕、まったく仕事できないんです。マンガも本当に描けないと思います。

犬山：でも最初は、「いらないよ」って言ってたんです。自分のために代行サービスをお願いするって言い出しにくいだろうから、これは外で仕事をやる割合の多い者から提案しなきゃダメだなと思いました。

剣：僕も自分のことぐらいい自分で稼いでいるので何とかやれていますけど、さっき専業主婦の話であったみたいに自分の欲しいものまで買ってくださいというのは気が引けるのかなと。家の仕事をやっているんだから、本当は悪くないはずなんですけど。

犬山：それは、夫が言うとおりで、私が外で稼いだお金は私だけのお金じゃなく二人で稼いだお金です。法的にもそうなっていますしね。離婚になったら、一緒にいた期間に稼いだお金は二人で分割しますから。そもそも権利があるんですよ。でも、言い出しにくい。

進行：最初に犬山さんが剣さんに家事をお願いする時に、剣さんがやる家事の対価を計算すると、自分が出しているお金と釣り合うから、これは妥当な取引なんだと話をしたというエピソードがありました。犬山さんの中で剣さんに対して申し訳ないという気持ちがあったんでしょうか。

犬山：フェアにやりたいという気持ちが強くて。私が20歳の時に母親が介護が必要になって、私が家事をやらなきゃいけない状況が何年かあったんですね。私は家事が好きじゃなかったんで、家事の大変さや辛さをいやというほど感じていて、これはちゃんとお金をもらってやるべき労働だとその時に染みつけたのが一番大きいですね。

【子どもについて】

進行：次にお子さんについて、お二人でどのように話し合ったうえで授かったら育てようと思ったのですか。

犬山：彼は最後まで欲しいとは言わなかったです。私に任せると。それは彼の優しさだと思うんです。例えば、私がまず妊娠できるかということもあると思うし、妊娠や育休で私の仕事のキャリアが分断されたり、私への負担が大きいということを考えて言わないでいてくれた。

剣：やっぱり女の人の問題みたいになりがちなので、

自分がいろいろ言うべきではないかなというのはありました。でも本当は二人の問題だから、無責任といえば無責任かもしれないですね。

犬山：無責任じゃないよ。お互い子どもが欲しいかどうかは、後で大きい相違があると大変なので、私は欲しいかどうかわからないという話はずっとしていました。でも、たくさんの方に話を聞いていくうちに、心境の変化というか、子どもができたら育てよう、できなかつたら二人の生活をやっていこうみたいな感じでなんとなく方針が決まった時がありました。

進行：それで実際に子育てが始まって、心境や考え方に変化はありましたか。

犬山：私は夫にすごく助けられていて、もともと男だからこうとか女だからこうしろというのが一切ない人なんですね。だから子育ても、妻がメインという態度では全然ないんですよ。愛情曲線というのがありまして、出産直後、妻の夫に対する愛情はグーンと下がるのですが、子どもが生まれて半年間くらいしっかりと妻が夫と二人で育児をしたと思える夫婦は、愛情の曲線が緩やかに回復していくんです。今、夫と私は7対3くらいで育児をしています。私が「飲みに行くわ」というのをやり続けると、夫の私に対する愛情曲線はグングン下がっていくと思いますので、そこは肝に銘じています。

【仕事について】

進行：仕事について犬山さんにお聞きします。フリーランスで働くゆえの大変さややりがいについてお聞かせください。

犬山：妊娠・出産はフリーからすると恐怖しかなかったです。産休や育休中は収入がゼロになりますし、キャリアが途切れてしまう怖さもありました。また、子育てにかかるお金を不安定なフリーの仕事で稼がなきゃいけないプレッシャーもあります。でも逆に、妊娠中に満員電車に乗らなくて済んだり、家で仕事をするので、その分子どもとの時間を長く取れたりといううれしい点もあります。

進行：剣さんの仕事観やこんな仕事をやっていきたいという思いを教えてください。

剣：僕は昔から一つのことを極める、職人みたいなものが一番の理想だったんです。バンドのマネージャーの時は、メジャーになることを目指していましたが、最近是人と比べても仕方ないなど。結局自分の好きなことをやる方が性に合

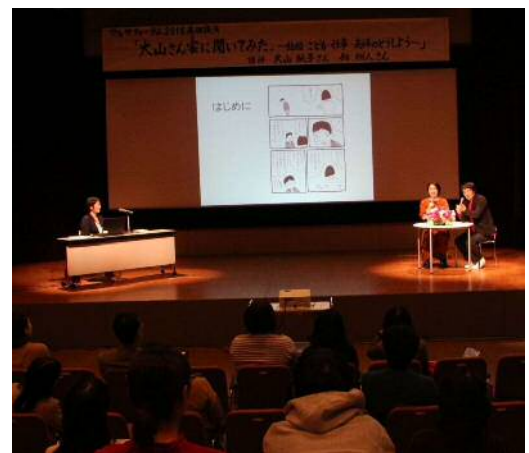
っていたというか、彼女がテレビとかメジャーで頑張ってくれているので、今は自分のやりたいようにマンガを描いています。

【シアワセのカタチとは】

進行：最後にお二人が考える「シアワセのカタチ」を教えてください。

剣：僕は人の目を意識しすぎて生きてきたところがあるのですが、子育てしているうちに削ぎ落とされていって、全くそういうことから離れた人間になる、それが幸せだなと思います。人と比べてもしょうがない。一番格好いい人は、自分の道を行っている人だなと思うので、それが幸せかなと思います。

犬山：私の思う幸せも自己肯定感と深くつながっているのですが、自分を好きになるって結構難しい。今日は夫を怒らずに済んだ、娘との時間が取れた、仕事で楽しいことができた、というようなことを積み重ねていくこと、大事な人を大事にすることが幸せなのかなと思います。



「若年妊娠とその背景 ～性教育とデートDV防止の重要性～」

講師 種部恭子さん(産婦人科医・女性クリニックWe! TOYAMA院長)

共催 NPO法人 女のスペース・にいがた

【富山市の性教育について】

教育委員会がお金を出して、全部の公立の中学校に産婦人科医が性教育を行うようになってから23年間。富山市は、日本の中でも10代の人工妊娠中絶がかなり低い。

【若年妊娠・中絶】

2008年と2014年を比べると高校3年生の性交経験は遅くなっている。性交経験が遅くなったので、10代の人工妊娠中絶は減っている。人工妊娠中絶は、1995年から急に増え2002年がピークだった。95年以降増えたのは、10代の子どもの性が商品になり商売になり始めたことと、携帯電話が出現したため。

14才以下(中学校1・2年生、小学生も含む)の人工妊娠中絶は少ないが、1件1件は重たい。ローティーンの相手は大人である。子ども達は、性的搾取の被害に遭い、盗撮や児童ポルノなどの事件に巻き込まれることが多い。

【若年出産・虐待死】

10代同士で結婚した場合、1年後まで結婚生活が続く人は1%。出産の頃には結婚生活は終わっている。その結果、1人で育てられなくて虐待死に至る。虐待で一番多く亡くなっているのは0才児。0日目に亡くなることがもっとも多い。0日目に赤ちゃんを遺棄した実母の年齢は10代から20代前半が半数。産んだ場所は、9割くらいが自宅など医療機関ではない所。予期せぬ妊娠をした時に誰にも相談できず、どうしていいかわからないまま出産してしまうことが多い。大人の手が届かなかったこの子たちは、本当は被害者である。

【性暴力】

異性から無理やり性交をされた女性の85%は(元)夫婦、(元)交際相手などの面識者である。望んでいない性交は暴力と同じである。

ストーカーの相談件数が増えてきている。交際していた相手がストーカーになる場合は、交際中からDVだった可能性がある。ストーカーの背景は支配。セクハラも支配の中で起きている。

リベンジポルノなどインターネット上の被害も多い。相手の顔が見えにくい所で起きている。

日本は、児童ポルノに非常に甘い国で、世界に児童ポルノを輸出している。海外では所持でも懲役刑になるが、日本は罰金刑程度である。

最近2次元(バーチャルゲーム)に恋をしている男の子がいる。2次元で気が済むならよいが、性的欲求が出てきて抵抗しない幼い子を狙う事件がある。

【若年女性の性的搾取】

今、被害に遭っているのは女子高校生もいるが、女子中学生、女子小学生もいる。家出やタレント活動などで、気づいたら脅されたり、暴力を振るわれたりして性被害に遭っている。

家出をするような子どもは家や学校に居場所がない。生き延びるため、SNSで求人情報を探したり、泊まる場所を探したりするが、そういう子を狙って性的搾取する人たちがいる。SNSでつぶやいた時に、寂しいのですぐに返事をくれて優しい言葉を掛けてくれるような男の人と繋がり、捕まってしまう。

【若年妊娠を防ぐためには】

若年妊娠を防ぐためには教育と受け皿と居場所が必要。海外では、人間関係を教えることをベースに置いた性教育が行われている。ユネスコが出している性教育のガイダンスも関係性がキーコンセプト。そこに書いてあるような教育をすると性交開始年齢が遅くなった、中絶や性感染症が減ったという結果がある。

そして、受け皿として、説教をされないような敷居が低く居心地の良い相談窓口が必要。幸せになるために性がある。子ども達を色々な大人で見守り、社会で助けていくことが大事。

【最後に】

皆様の持ち場の中で出来ることを1つずつやっただいて、大きな効果の実を結ぶ時を期待している。



「仕事も私生活も欲張る ~Work×Life×Socialで Hybrid 人生~」

講師 川島高之さん(株式会社 K&Partners 代表取締役社長)



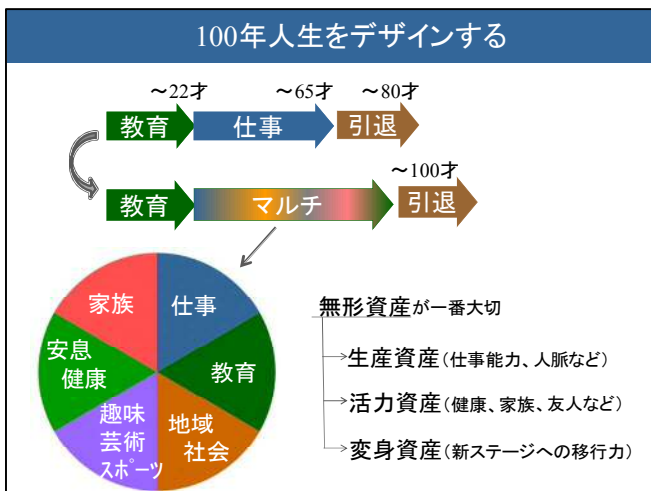
【新潟大学を会場に開催】

新潟大学人文社会科学系棟 1階を会場に、新潟大学法学部の学生約200名が講座に参加しました。35年後の自分の仕事や生活や社会との関わりを想像してみることから始まりましたが、学生にとってそれはとても難しいことでした。

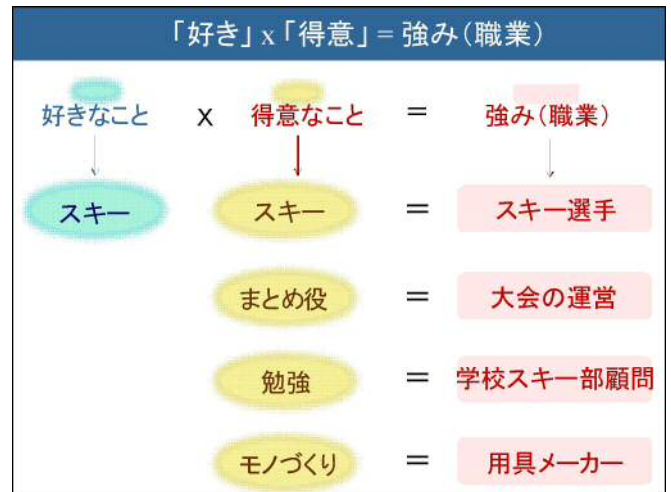
しかし、講師からワーク・ライフ・バランスや、仕事への心構えの説明を聞くうちに、一人ひとり自分の将来についてより具体的に考えられるようになったようです。

【ワーク×ライフ×ソーシャルで“ハイブリッドな人生”を送ろう】

人生100年時代をデザインするには、無形資産①生産資産(仕事能力・人脈など) ②活力資産(健康・家族・友人など) ③変身資産(新ステージへの移行力)が必要であり、女性も男性もワーク、ライフ、ソーシャル全てが大切。



【プロフェッショナルな仕事人になるためのヒケツ】
 プロフェッショナルな人材になるには①強みを持つ ②多様性を備える③問題解決能力④失敗を恐れない⑤オーナーシップの5つが大切。



失敗を、恐れない

君はこれからも、何度もつまづく。でもそのたびに立ち直る強さも得られるんだよ。(45年後ののび太)

成功の反対は失敗ではなく、「やらないこと」だ。
(サッカー日本女子の佐々木監督)



「1勝9敗」
(ユニクロの柳井会長、ノーベル賞の山中教授)



成功者の言葉、「失敗ばかりしてきた」

【学生の感想】

- ・出産後の仕事で、女性の生涯賃金に最大2億円の差があることに驚きました。
- ・実はイクメンが増えていないことに驚きました。
- ・「好き×得意=強み」が参考になりました。
- ・仕事以外の自分の人生についてしっかり考え直そうと思いました。
- ・自分の人生の社長は私であり、私が選択することの大切さを学びました。

ワークショップ・協賛事業

主催：NPO 法人 日本ファシリテーション協会新潟サロン	ワークショップ
ファシリテーター型リーダーシップ！？	11/10 (土)
話題提供者 中野 功さん	
<p>○企画の意図 メンバーを強かに引っ張るリーダーシップから、性別などにとらわれずメンバーの個性を尊重し、目標に向かって主体性とやる気を引き出すファシリテーター型リーダーシップを提案し、参加者それぞれの現場で実践できるようにすることを目指した。</p> <p>○企画で工夫した点 1年間、このテーマで例会を重ねており、今回、民間企業でファシリテーションを実践している方を話題提供者に迎えることで、その集大成と位置づけた。</p> <p>○当日の内容・状況、参加者の反応 話題提供者は、最初に目指すリーダーシップ像を参加者と共有し、その上でテーマを踏まえたワークを段階的に進めた。ワークごとにグループの組合せを変え、参加者同士の交流も重視した。リピーターの参加者もいて、最初からリラックスした雰囲気を進めることができ、特に2人の大学生の参加は大きなインパクトを与えた。</p> <p>○成果と反省 メインのペーパータワーでは大きな盛り上がりを見せるとともに、メンバーがそれぞれの持ち味を発揮して主体的に目標達成に向けて役割を果たすファシリテーター型リーダーシップを実践する絶好の機会となった。クロージングで参加者が振り返りを語ることで、ファシリテーター型リーダーシップの共通理解が進んだ。それぞれの現場で活かす方策まで踏み込むことはできなかったが、それは参加者の今後の実践に期待したい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

主催：イキイキ健康ふれ愛クラブ元気塾	ワークショップ
幸せを考える - 年を重ねる喜びと感謝 -	11/11 (日)
講師：山本正栄さん（会員） 高橋征一さん（歌指導）	
<p>○第1部講演（会員発表） 「体調不良を食材パワーで」と題し、会員の山本氏が自身の体験と学びを通しての今の心境並びに知見を分かりやすく話された。氏は「健康の源は食にあり」を信条として薬に頼るのではなく日々の食生活がいかに大事かを数々の事例を踏まえて熱弁された。</p> <p>○第2部パネルディスカッション 「幸せを考える」一歳を重ねる喜びと感謝をテーマにこの半年間議論を重ねまとめ上げたものを2グループの各代表が発表。知と学グループは、人の繋がり、健康管理、生きがい、地域の4つのキーワードにまとめあげ、最後に「讚（たたえる）」に一言集約した。健と旅グループでは各会員の体験・話し合いからと、これまでの諸々の学びの中から高齢者にとっての幸せのエキスを抜き取り、最後に「人様のお役に立つことの幸せ」という文言にまとめ上げた。</p> <p>○第3部唄声サロン ギター伴奏と歌指導をして頂いている高橋氏は主に福祉施設でのボランティア演奏活動が3,000曲を越え、次なる目標5,000曲を目指して頑張りますとのこと。ギターの伴奏に乗せての皆での合唱は何とも心地良い。思い切り声を出すことの快感と流行った頃の若かりし時代にタイムスリップした世界に浸れることの幸せ感に包まれたひと時でした。</p> <p>男女ほぼ半々の会員が毎月集い、学び、語り合い、いつまでも好奇心と向上心を持ち続けていることが会員自身の生き甲斐であり、それぞれが地域にあってひとりモデルの姿を示しているのでは？と自負しているところ です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	



主催：Mia	ワークショップ
手ぶらで読書会～Empty-Handed Book Club～② 「くまのトーマスはおんなのこ」「たまごちゃん、たびにでる」	11/11 (日)
講師：Yumi（レインボーグッズ作家）	
<p>「手ぶらで読書会」では通常の読書会の異なり、事前に本を読了する必要がなく、主催者が事前に選んだ本や、その中のいくつかの場面をその場で読み、感じたことや他の参加者に聞いてみたいことを全員で話し合っていました。</p> <p>2回目となる今回は絵本を読みながら、多様な性や家族のあり方、親しい人に性的少数者であることをカミングアウトされた際にどうすればよいのかを話し合いました。</p> <p>SNSでの告知や、カフェや雑貨店等、人の集まる場所へのチラシ設置をお願いしましたが、当日は少人数であった分、沢山発言していただくことができました。</p> <p>2冊の本に関しては、「家族のバリエーションは、本にあるよりももっと多様でも良いと感じた」「性別だけではなく、人種の違う家族のあり方にも気づいた」「カミングアウトをすぐに受け入れる姿に感動した」「Aだと思っていた相手がBだったとしても、Bとして関係を築き直せば良い」といった前向きな感想をいただきました。</p> <p>次回開催の際には、小説などの読みやすい形式の本を選ぶなど、「ジェンダー」「セクシュアリティ」「男女共同参画」といった堅いイメージのある言葉にとらわれず、より多くの方にご参加いただければと思います。</p>	






主催：放送大学心理臨床研修会・新潟	ワークショップ
コラージュでストレス解消！～あなたも体験してみませんか～	11/11 (日)
講師：放送大学心理臨床研修会・新潟 会員	
<p>心理学に興味をお持ちの方は、皆さんの周りにもたくさんおいでだと思います。ワークショップでは、私たちが学んでいる「心の安定化」や「脳の活性化」に役立つコラージュを使った「創作コラージュ療法」の体験を企画しました。</p> <p>クリエイティブ・セラピー（創作療法＝コラージュなどを用いながら行う自己セラピー・他者セラピー・グループセラピー）は、今もっとも注目を集めているアート系セラピーの1つです。</p> <p>ワークショップの内容は、「コラージュの創作」と「クリエイティブ・セラピーの説明＆心理的な見方で作品を見る」です。</p> <p>コラージュは、各自が持参した雑誌や新聞・パンフレットなどの中から選んだものを切り抜いて、カラー台紙に気の向くまま貼り付けて創ります。誰にでもできるとても簡単なものです。趣味としての楽しさはもちろん、創る行為そのものが気持ちを安定化させたり、脳の働きを活性化させたりします。更に、ご自分の作品を心理学的な見方で見てみると、「心を映す鏡」のように見られるようになって、自己理解が深まり、日常における心のセルフケアに役立ちます。その結果、また自然にうつ病の予防や気分障害・認知症の予防などに役立てられるようになっていわれています。</p> <p>集客は定員に余裕のある結果でしたが、アンケートから参加した方々には満足いただけたと思っています。これからも「創作コラージュ療法」を紹介する機会を設け、メンタルヘルスに貢献していきたいと思っています。</p>	





主催：カトレア会	ワークショップ
貫太郎さん親子と語ろう！～発達障がいと共に生きる～	11/11 (日)
講師：貫太郎さん(当事者) しおたまこさん(お母さん) 瀧澤ミチ子さん (NPO法人子どものオンブズにいがた副代表理事)	
<p>どの学校にも在籍する発達障がいの子もたち(9万人います)がどのような困難を抱えて生きているのか、どのように共生していくのかを、当事者と参加者が交流することで、考えたいと企画しました。「普通」と少し違う発達障がいの一人ひとりを大切にできる学校や社会は男女共同参画推進と通じるものがあるはず。貫太郎さんと同じ当事者から参加してもらえよう、居場所づくりの団体等にもPRしました。その結果、事前申込で、開催の1週間前には定員に達しました。</p> <p>貫太郎さんは学校になじめず、不登校を選択しました。現在は大好きな絵を描いています。当事者同士はできることに偏りがあること、こだわりがあること等について、また、親の立場から、発達障がいを肯定するまでの葛藤や将来への不安等について、本音で交流ができました。あっという間に終了時間に達し、まだまだ話足りない雰囲気でした。それで次年度もう一度、この企画で開催することを参加者の同意で決定しました。これが今回の成果だったと思います。</p> <p>発達障がいをもっている子どもたちの将来が不安なのは、モデルがないからです。貫太郎さんがロールモデルになってくれたらと考えています。次年度、貫太郎さんがどんな成長を見せてくれるか楽しみです。また、学校に行かない(行けない)不安が親御さんには大きかったと思いました。「学校だけが学ぶ場である」という学校神話から脱却し、「いろんな学びの場が選択できるような社会」に変わってほしいと願っています。</p>	 

主催：NPO 法人 ライフ・アクセス21	ワークショップ
心と身体の健康づくり“操体法とタッピング講座”	11/14 (水)
講師：ライフ・アクセス21 会員	
<p>NPO法人ライフ・アクセス21がワークショップに参加するのは3回目になりました。生涯にわたる健康づくりの支援として、操体法とタッピングを組み合わせた講座を企画し、自分で手軽に健康づくりができる方法を紹介しました。</p> <p>参加者を2つのグループに分けて、操体法とタッピングの両方が体験できるようにしました。また、講座時間は少し長くしてゆったりと体験ができるよう工夫しました。今回も多くの方から集まっていただきました。</p> <p>操体法は誰もが手軽にできる、食生活・呼吸・心の持ち方・動き・環境の5つのバランスをとる健康増進法です。「動き」では、身体を動かしてみても気持ちの良い方に動かすことで、身体の歪みを整える基本動作を学んでもらいました。</p> <p>タッピングは、指先の腹の部分を使って、左右交互に軽く弾ませるようにタッチする簡単なケアの方法です。</p> <p>操体法の会場では、まずパワーポイントで基本を学んでから自分の身体で動きを体感しました。気持ちのいい方にそっとゆっくり動かし脱力することを3～4回行うことで、骨盤はもとより背骨、首の歪みが整ったことが実感されました。「実践効果が味わえた」「家でもやってみようと思う」と喜んでいただけました。</p> <p>タッピングの会場では、自分ひとりで行う方法と2人ペアで行う方法を体験してもらいました。「人の手はこんなに温かいのね」「すごく癒やされ、気持ちよかった」と満足していただきました。これからも、健康づくりの一助となるように、自分で手軽にできる健康法を広めていきます。</p>	 

主催：NPO 法人 健康生きがづくり新潟	ワークショップ
<p align="center">笑いがあなたを健康にします！（笑いヨガ体験会）</p>	<p align="center">11/15 (木)</p>
講師：吉田浩子さん（笑いヨガクラブ in 新潟 笑いヨガリーダー）	
<p>当団体は、健康生きがづくりアドバイザーが主に会員となって、日頃中高年の方々への健康づくりと生きがづくりを提案し、講座や研修会・セミナーなどの企画開催を行っています。会員の男女構成割合は約半々でバランス良く保たれています。おかげで企画もいろいろ工夫がみられて、活動もうまくいっています。</p> <p>アルザフォーラムへは、従来健康や生きがいのテーマで講座を行って参りましたが、座学も大変意義のあることですが、健康を求める手段として、身体を動かす軽い運動なども市民の皆さんには関心のある行事ではないかとの度は企画しました。</p> <p>健康体操に関するスキルのある会員もおりますが、最近話題になっている笑いとヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操の「笑いヨガ」をとの意見もあり、笑いヨガクラブ in 新潟の活動を知り、講師をお願いして実現しました。</p> <p>当日は笑いヨガリーダーの吉田浩子さんほかの方々のご指導で開催致しました。参加者は約25名ほどで、女性の方の参加が多数でしたが、男性の方も交じりにぎやかに約1時間程の笑いヨガ体験会を行うことが出来ました。当会で用意したアンケートでは21件の回収ができました。内容では大変良かったの回答が20件で大多数で一応の成功かと思えます。</p> <p>「これからやってみようと思った」「他の人にも伝えたいです」や、「とても楽しかったです」「笑顔になれるのは良い事かと思いました」などの楽しかった、参加して良かったなどの感想を記入頂き、開催して良かったと実感しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

主催：NPO法人 子ども・人権ネット CAP・にいがた	ワークショップ
<p align="center">子どもの安心・安全を守る</p> <p align="center">～いじめの被害者にも加害者にも傍観者にもしない～</p>	<p align="center">11/17 (土)</p>
講師：CAP・にいがた（笹川明美・米倉之子・吉崎和子）	
<p>新潟県では今、いじめやいじめによる自殺が大きな問題として取りあげられています。小学校、中学校だけでなく、高校生までも・・・。</p> <p>CAPでは、子どもをいじめの被害者にも、加害者にも、傍観者にもしてはいけなく考えています。そのためには、子どものSOS（気持ち）を受け止める。子どもの話に耳を傾ける。子どもと問題を解決する方法を共に考える大人が必要です。</p> <p>当日は、参加者1名でしたが、子どもの頃のいじめ、暴力について考え、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 CAPとは（子どもへの暴力防止プログラム）何か。 2 子どもの頃に戻って「CAPプログラム「小学生高学年用」を体験する。 3 子どもの問題解決力を育むには。 4 子どもの話を受け止める、聴く。 <p>について、ワークショップ、意見交換をしました。</p> <p>今だから考えられた事、今の子ども達に伝えたい事。参加した方からいろいろな思いが語られました。</p> <p>企画した内容は、CAPに基づいた「今、新潟で必要な事」という思いでしたが、チラシの配布のみの広報だったので、参加者が少なかったと思います。個人の思いは十分に聴けましたが、周知や広報につながることは少ないと思います、HPや関係機関への広報が必要だったと思います。</p> <p>例年に比べると、アルザにいらっしゃる人の数が大変少なく感じられました。</p> <div style="text-align: right;">  </div>	

主催： NPO 法人 ウィメンズサポートセンターにいがた	ワークショップ
DV・虐待・セクハラ等の根絶をめざして ～非暴力コミュニケーションを学びましょう～	11/17 (土)
講師：佐々木寛さん（新潟国際情報大学教授/新潟平和研究センター代表） 西澤真知さん（新潟平和研究センター講師）	
<p>非暴力コミュニケーションや非暴力トレーニングは、様々な人間関係の中で起きる紛争やトラブルなどを、平和的に解決するための手法です。欧米で開発され、クロアチアを經由して、旧ユーゴ平和人権にいがたネットワークによって、新潟にもたらされました。</p> <p>今回は、新潟を拠点に非暴力コミュニケーションの研究と普及を行っている「新潟平和研究センター」の佐々木寛代表をお招きして、非暴力コミュニケーションについてお話ししていただきました。そして、後半は非暴力トレーニングを実際に体験していただき、まず自分の感情に気づき、自分の真のニーズはどこにあるのか確認することが、問題解決の第一歩であることを学びました。</p> <p>日常生活の中のちょっとしたイライラやささいな行き違いが大きなトラブルに発展することもあります。「これは、DV？ 虐待？ セクハラ？」などと悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。</p> <p>DVや虐待、セクハラは「暴力の世代間伝播」の問題も大きく、次世代の子ども達の心身に与える被害は甚大です。こうしたDVや虐待、セクハラを防止することは、大変重要な緊急課題として世界的に取り組まれています。日本は国際的に見ると、取り組みが大変遅れていると言われています。</p> <p>私達ウィメンズサポートセンターにいがたは、女性や子どものための相談・支援活動をしています。その中で最も多い相談は、DVや虐待などの身近な人からの「暴力」です。私たちはこれからも非暴力トレーニングをより多くの方々に体験していただき、暴力のない安心・安全な社会をめざしたいと思います。</p>	



主催：（一社）国際女性教育振興会新潟県支部	ワークショップ
世界一男女格差の少ない国 アイスランドを訪ねて	11/17 (土)
講師：小柳清 小林のり子 齋川英子（会員, 2017 海外視察研修参加者）	
<p>2017年の海外視察研修に当支部から3名の会員が参加した。訪問国は、女性の活躍がめざましく、世界経済フォーラムの男女平等ランキングで9年連続世界第1位の国アイスランドであった。ワークショップでは、視察研修の報告を行い、参加者と共に、男女共同参画社会に向けての取組や日常生活を考える場となることを願った。</p> <p>1 教育</p> <p>①「教育の責任は国にある」とし、全て無償。道徳観、健康と福祉、平等と人権などの理念を掲げて実践。</p> <p>②2歳から始まる幼児教育の充実、学びたい時に学ぶことや働きながら学ぶことが可能な制度。</p> <p>③アイスランド大学の日本語学科は日本との交流を重視</p> <p>2 環境</p> <p>①オイルショック時、国の基金を導入し地熱引き上げ。</p> <p>②エネルギー使用量の85%は再生可能エネルギー。そのうち室内暖房の90%は地熱エネルギーを使用。</p> <p>3 福祉</p> <p>①福祉には国家予算の43.3%を当て、介護や医療が充実。介護職員の質の高さと離職率の低さを誇る。</p> <p>以下は参会者からの意見である。「男女平等はしつこく主張しないと前進しない」というアイスランドの女性リーダーの言葉に共感した。アイスランドでは「男女平等」の言葉がない程、それが当たり前になっている。日本の社会も早くそうなるよう努めたい。</p> <p>次年度も当会の海外視察研修を基にワークショップを開いてほしいという要望が多かった。</p>	


主催：ホワイトボードミーティング®チームにいがた	ワークショップ
<p style="text-align: center;">ポジティブな私になるコミュニケーション</p>	<p style="text-align: center;">11/17 (土)</p>
講師：ホワイトボードミーティング認定講師 廣田・吉田	
<p>私たちは日ごろ友達や家族との関係、地域などで自分の意見や考えを言葉にできず、周りと合わせたり「NO」と言えずガマンしてしまいます。その結果コミュニケーションがうまく取れないと感じることが多々有り、イライラしたりします。</p> <p>今回はホワイトボードミーティング®のファシリテーションを体験することで自分について深め、自分の大切さに気づき、周りとの良好な関係を作るためにはどうしたらいいのかを考えるきっかけになるように開催しました。</p> <p>自己紹介から始まり、それを深めて話す「私を語る10の言葉」で周りに受け止められ心が温まることを体感し、お互いの距離感が縮まりました。</p> <p>「ホワイトボードミーティング®質問の技カード」を使い2人組でオープクエスチョンで聴く練習をして、それから「定例進捗会議」を体験しました。</p> <p>参加者は5人。最初は緊張した面持ちでしたが、自分のことを話し、それについて他者から認めてもらい、次第に笑顔が見えるようになり「元気になった」「楽しかった」との感想をいただきました。</p>	



主催：わいわい夢工房	ワークショップ
<p style="text-align: center;">“防災カフェ” in アルザ 「からだをほぐすワークショップ」</p>	<p style="text-align: center;">11/17 (土)</p>
講師：松崎友紀さん（即興舞踊家・アーティスト）	
<p>全国各地で災害が続いたこの一年、いつどこでどんな形で見舞われるかわからないのが現実です。性別にとらわれず“自分のいのちは自分で守る”自助の意識を持ち、ふだんの生活の中で健康を保つことが大切だと思います。</p> <p>いざという時に備え、狭い所でも時や場所を選ばずできる簡単なストレッチを学び、実際にからだを動かすワークショップを企画しました。</p> <p>男性が一人でもいると思うようにできないのではと、女性限定で少人数で募集を行いました。当日キャンセルも数人出たこともあり、非常に少人数となってしまいました。</p> <p>しかしそれが功を奏して、ふだん人に言えないからだの悩みや心配事なども自発的に話し、共感してもらえることによってストレス発散となり、笑い声のたえないひと時となりました。</p> <p>たたみに寝そべて転がったり、組になってからだをさすったり揺らしたり、時には足で踏みつけたり。互いに声をかけあって強さを加減して、位置や効果を確認していると、気持ちよい汗も出てきました。</p> <p>タオルを使ってツボを刺激したり引っばったりする方法は、毎日1人でもベッドの上でもできることなので、大変参考になったというのが全員の声でした。</p> <p>最後にアレルギー対応の市販のクッキーなどでお茶を飲みながら、感想を出しあいました。</p> <p>災害時の避難所でこのような時間を設けると、コミュニケーションも取れストレスの軽減に役立つと思われました。</p>	



主催：NPO法人 女のスペース・にいがた	ワークショップ
<p align="center">若年女性への性暴力～性暴力被害に絡めとられないために～</p>	<p align="center">11/17 (土)</p>
<p>講師：小田恵さん(新潟県パーソナル・サポート・センター主任相談支援員) 北村ゆいさん(新潟市パーソナル・サポート・センター相談支援員)</p>	
<p>DV防止法施行以降、女性に対する暴力をなくすことへの関心は高まっています。しかし一方ではレイプドラッグ・AV強要・JKビジネスなど若い女性に対する性暴力は形を変え増え続けています。</p> <p>今回は、パーソナル・サポート・センター(生活困窮自立相談支援事業)相談支援員であり、風テラスの活動もされている講師をお招きし、性暴力を受けやすい風俗の実態を知り、これからの課題等を話し合いました。「風テラス」は、風俗で働く女性のための無料生活・法律相談サービス。(一社)ホワイトハンズ代表坂爪慎吾氏が2015年から東京で活動。新潟でも2017年から実施しています。「風テラス」の活動状況を受けた後に、私たちが出来ることはなにかをディスカッションしました。まとめでは、風俗で働く女性は決して楽をして稼いでいないこと。行政の制度やサービスは、彼女たちのニーズに対応が出来ていないこと。また、彼女たちの気持ちに寄り添い自己肯定感を高めることも必要であり、今後はカウンセリングなどメンタルの対応も重要である。そして、性暴力であり人権侵害が蔓延する風俗の世界にも支援を広げていこうと会を終えました。</p> <p>参加者からは「風俗そのものの内容を知らなかった。性暴力の現状について知ることができ、参加してよかった。この現状を若い人たちに知ってもらいたい。」と感想を受けました。若い女性たちが、性暴力に絡め取られないために、今後も女のスペースでは活動をしていきたいと考えています。</p>	 

主催：新潟県カーリンコン協会	ワークショップ
<p align="center">カーリンコンの楽しさがあなたを健康にします！</p>	<p align="center">11/17 (土)</p>
<p>講師：新潟県カーリンコン協会 会員</p>	
<p>新潟県カーリンコン協会がアルザフォーラムに参加するのは8回目になりました。</p> <p>カーリンコンのゲームは、赤・緑チームそれぞれが6枚のディスクを交互に投げ合い、どちらがポイント(マ)ト)に近づいているかを競う簡単なゲームです。</p> <p>初めての人でもすぐに覚えられて、幼児から高齢者や障がいのある方まで幅広い交流が可能です。知らないうちに身体を動かして、健康寿命の延伸、笑顔の仲間づくりにも最適なゲームです。生涯にわたる健康づくりの支援として、この楽しさを体験してもらうために企画しました。</p> <p>多くの方が来ていただいても大丈夫なようにコートを2つ作りましたが、天候も悪く参加者は少人数でした。</p> <p>来ていただいた方々には、ゲームのやり方を説明し、ディスクの投げ方を練習して、その後試合形式で体験しました。みなさんはすぐにコツをつかみ、一投一投のディスクの行方に歓声を上げて楽しんでいました。ディスクが上手くポイントの近くに行ったり相手のディスクを弾き飛ばしたときには、チーム内で拍手やハイタッチして喜んでいました。</p> <p>最後の一投で形勢が逆転したときには、勝った方も負けた方も笑顔で手をたたいて盛り上がっていました。仲間を思いやったり、褒めて喜んだり気持ちよくゲームを楽しむことができました。</p> <p>“カーリンコンの楽しさがあなたを健康にします！”の協会のキャッチフレーズのように、心と身体をともに健康にできるようにカーリンコンを通じて、楽しさと笑顔を広めていきます。</p>	

主催：にいがた女性会議 男女平等教育部会	ワークショップ
LGBTって何だ？	11/17 (土)
講師：井浦綾香さん（LGBTにいがた Love1peace 会員）	
<p>にいがた女性会議男女平等教育部会は、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざして活動しています。昨年度からLGBTの理解を課題に学習してきましたが、学校でも何らかの啓発が必要ではないかと考えて教育委員会に対していくつかの提案をしました。</p> <p>ワークショップでは、LGBTにいがた Love1peaceから井浦綾香さんをお招きして分からないことをみんなで話し合いたいと思いました。そのために会場は顔が見える配置とし、声の届く大きさの部屋にして参加者が話しやすい雰囲気づくりを心がけました。講師の井浦さんからLGBTについての基本的な知識とラブワンピースの活動の様子を話していただきましたが、終始なごやかな中、参加者からは多くの質問や意見が出されて、予定する時間を超えてしまいました。そして、『ALL Y（アライ）=LGBTの理解者・支援者』という言葉を覚えてもらいました。アライが可視化し増えることがカミングアウトしやすい環境で安心できる社会だそうです。それは私達にも生きやすい社会なのだと思います。</p> <p>アライを目指す私達が今日からできることは①当事者がいるかもしれないことを意識して使う単語を変えてみる②固定観念を押し付けない③アライであることを表明する（言葉で発言するのではなくアライステッカーや虹色ステッカーなどで表明する）④LGBTのニュースに関心を持つ事です。最後に、井浦さん達は、新潟市でパートナーシップ制度の制定を目指しています。「一緒に暮らしていても法的には赤の他人」などという悲しい言葉が無くなりますように。私達はこれからも学習していきたいと思っています。</p>	



主催：新潟市消費者協会新潟支部	ワークショップ
みんなで作ろう！おしゃれ可愛いエコパッケージス	11/17 (土)
<p>エコというと中高年、女性、を連想しがちですが、年齢や男女にかかわらず、環境に配慮した暮らしは重要です。身近なものから「エコ」を考えてもらおうと、捨ててしまう牛乳パックや菓子箱を使って可愛いポリ袋ケース作りを企画しました。</p> <p>簡単、おしゃれ、可愛い、の3要素のおかげか、定員に近い参加者がありました。7歳の少女とお母さんも1組。初めに会の活動内容や他の手作りエコ品の紹介、その後制作に。皆さんは作り始める前から楽しみに待っていてくださっている感じがしました。</p> <p>台紙の部分は先にカットして用意、表に貼る和紙や生地を選んでもらい、担当者が指導したり、隣同士で教えあったりしながらエコパッケージス2点完成。作り方を簡単にまとめたものを配布しましたので、帰宅後自分で制作することもできると思います。今後他にも企画してほしいの感想もいただきました。</p> <p>生活していく上で身の回りのことはすべて消費者問題です。難しく考えずできそうなことから始め、興味を持ち行動して下さる方が増えれば良いと考えています。</p>	





主催：NPO法人 ワーキングウイメンズアソシエーション	ワークショップ
親と子のための防災ワークショップ	11/17 (土)
講師：椎谷照美さん（NPO 法人 ヒューマン・エイド 22 理事長）	
<p>主として女性の立場で「家庭内の防災」について家族で考える機会を市民に提供する目的で企画しました。</p> <p>企画するにあたり考慮したことは、1.具体的でわかりやすく参加者がすぐに実践できるものであること。2.参加者が女性だけであったとしても、性別に関係ない内容であること。3.参加者を通して家庭内で性別に関係なく共有してもらえらること。4.親と共に子どもにも考え学んでもらう機会となること。の4点です。</p> <p>広報の手段としては、1.WWA会員への告知、2.アルザを介してのチラシ配布、3.新潟日報に依頼して告知掲載、4.県内の子育て家庭向けに事業を展開している「トキっ子クラブ」に依頼してHP上での告知掲載を行いました。手数をかけた割には実際の集客には繋がりませんでしたが、広報のなかでも「トキっ子クラブ」を介して案内をすることができたのは、間接的にであっても、子育て家庭に対する防災意識の啓発に効果があったのではないかと考えています。</p> <p>当日の内容は、1.講師による親子向け防災講座、2.WWA会員が実際に子どもの為に用意した「子ども用非常持ち出しリュック」の紹介、3.新潟市防災課制作の防災ダンス、4.県内企業が生産販売している災害食の試食です。「具体的でわかりやすく参加者がすぐに実践できるものであること」を考慮してワークショップの構成をしたことと、各担当者が事前に十分な準備をしていたことで90分という時間内で円滑に進むと共に、参加した子ども達にも楽しんで貰えたようです。</p> <p>課題は男性（父親）の参加が無かったこと。今後は男性向けの講座を検討していきたいと考えています。</p>	



主催：劇団 あかつき	ワークショップ
崖っぷち家族のハーモニー	11/18 (日)
<p>男女共同参画社会を実現するために様々な試みが行われてきました。しかし、子供の育児に関してはまだまだ女性と男性の間には大きな差があります。これは、子供が生まれて子育てに専念する女性が多く仕事をあきらめることが多いのです。それに一度、育児の為に女性が職場をはなれると再就職も限られてしまいます。</p> <p>それに、現代は高齢化社会になって介護も多くの女性が行っております。</p> <p>そこで、色々な問題を抱えた家族を劇に取り上げて、劇中に認知症、引きこもり、生きがいとは、夫婦の倦怠期を入れ家族の愛と絆と人間の尊厳をメッセージに入れました。</p> <p>お客様の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人は変えられない、自分が変わればいい ・一人じゃないよ、助け合いましょうと言うシーン良かった ・私が生きてきた人生と重なるシーンがあった、感謝の気持ちで生きます ・愛があらゆる問題を解決する ・お母さんが「お父さん協力してね」という言葉が印象的でした 	



主催：にいがた女性会議 介護・自立部会	ワークショップ
<h2 style="text-align: center;">住み慣れた地域で最後まで生きる パート2</h2>	<p style="text-align: center;">11/18 (日)</p>
講師：斎藤忠雄さん（斎藤内科クリニック院長）	
<p>超少子高齢化時代を迎え、施設や病院で最後をと思っていたが、在宅での医療・介護へと方針が変わる中で、男女が共に自分らしく、いきいき暮らすために知っておきたいことを学ぼう、と企画しました。昨年のフォーラムで講演して頂いた斎藤内科クリニックの先生に再度依頼し、パート2として開催しました。</p> <p>全員が知人・友人に声掛けをし、参加してもらい、アルザに初めて来たという方も8人おられました。男性の参加が少なかったのが残念でした。グループごとにスクリーンに映し出された実例を見、どう感じたかを話し合ってもらい、発表するというやり方をしました。立場によって考え方、見方が違うことを知り、勉強になったとの感想も何人もの方が話されていました。資料もわかりやすく、先生の人柄の良さ温かさが伝わってきた、とも。</p> <p>後半は、「本当は、どこで最期を迎えたいか？それを実現できない理由」など話し合った。個人的には、できれば自宅での声が多かった。思い通りになっていない例も多いことを話され、今は在宅で最期を迎えられるようになっているので、元気なうちに家族と話し合っておくと良いとアドバイスして頂く。</p> <p>今後は「子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことが出来る社会」地域共生社会を目指したいと語っておられ、今新潟市の取り組みが進んでいることを喜んでいる、と話を結ばれました。</p>	
	

主催：にいがた女性会議 子どもの人権・子育て支援部会	ワークショップ
<h2 style="text-align: center;">新潟の国際化と女性・子どもの人権擁護 －医療・子どもの学習支援の取り組みから－</h2>	<p style="text-align: center;">11/18 (日)</p>
講師：坂口 淳さん(にいがた医療通訳委員会代表・新潟県立大学教授) 佐々木香織さん(りてらこや新潟代表)	
<p>11月18日、上記の内容でお2人の先生を講師に講演会と意見交換を行った。最近、外国人実習生の問題が国会でも取り上げられ、話題になっていることから期を得た内容であり、みんな真剣に耳を傾けていた。</p> <p>坂口先生は、医療通訳のボランティアをやられていることから、①外国籍住民のための医療相談会の取り組み②新潟県におけるコミュニティ通訳の必要性③国内各地で行われている医療通訳の紹介④これまで行ってきた医療通訳養成講座や通訳派遣の活動と今後の課題について話された。</p> <p>国際別に見ると、中国やフィリピンの人たちが約半数で、男女別だと女性の方が多いとのことだ。病院で困ったことは、医療費が高い、コミュニケーションが取れないことが不満であり、子育てしている人たちからは、保育料が高い等が調査結果で分かったとのことだ。</p> <p>佐々木先生からは、①母親が日本人男性と結婚し、再婚したため子どもが呼び寄せられるケースが多く不安定な家庭環境で勉強どころでない②新潟市には外国人集住地がなく親も子も孤立しがち③児童虐待・DV、貧困、発達障がい等の問題は、外国人住民にも起こりえる。様々な機関の連携と、外国語・やさしい日本語による相談窓口の拡充が不可欠との話があった。</p> <p>国際都市新潟として、多様性を認め合い、市民としてできることは何かを考える良い機会となった。</p>	
	

主催：NPO法人 新潟キャリアコンサルタント協会	ワークショップ
はじめてのメンタリング講座	11/18 (日)
講師：NPO法人 国際メンターシップ協会 チーフ・エグゼクティブメンター	
<p>1 企画の目的</p> <p>女性活躍推進の中で、ロードモデルとしてのメンター制度が注目を集めています。しかし、企業に限らず様々なコミュニティの中で、後進を育て、見守り、支援する姿勢を多くの方が持つ事で、円滑なコミュニケーションの場を持つことができます。はじめてのメンタリング講座では、ワークショップにて、相互支援の関係性を作りながら、シートを使用したミニメンタリングを体験することを目的として開催致しました。</p> <p>2 企画や集客で工夫した点</p> <p>協会には100名近くの会員がおりますが、全員にむけてメールリストを使い発信を行いました。また、一般向けにはチラシを作成し、集客につとめました。</p> <p>3 当日の内容</p> <p>講師より当協会の活動について説明があった後、メンタリングの導入例と全体像について講義がありました。その後、2人一組でメンターとメンティになり、ワークシートに沿ってメンタリングが行われました。会員外の方2名の参加があり、キャリアコンサルタントからメンタリングを受け、今後自分がとりくみたいことが明確になった。いろいろと相談にのって頂いて、とても良かったと前向きな感想が寄せられました。</p> <p>4 成果と反省</p> <p>会員外の参加・問い合わせなどがあり、協会活動の周知にもつながりました。また会員の方にもキャリアコンサルティングとメンタリングの親和性を理解して頂きましたので、それぞれの活動フィールドで相互支援の輪を広げていきたいと思えます。</p>	



主催：にいがた女性会議	協賛事業
にいがた女性会議設立 30 周年記念事業 男女平等社会をめざして 未来へむけて共に歩もう	10/27 (日)
<p>にいがた女性会議は女性たちが抱えるさまざまな問題を解決するために「女性と男性が共に平等にかかわることのできる社会をつくること」を目的に活動を続けています。10月27日、設立30周年を迎え、3つの記念事業を企画し、当日は記念誌の発行、展示、30年の活動をまとめたパワーポイントとともに、映画「未来を花束にして」を上映しました。</p> <p>映画は、1912年のロンドンを舞台に女性参政権運動に身を投じた女性たちの実話に基づき、過酷な環境のなかで働く女性が娘の未来を思い運動に加わり自身も成長していく姿が力強く描かれています。</p> <p>事業準備は1年以上かけ、企画運営、ご案内・チラシ配布などについて討議、会員の力が発揮されたものになりました。新潟市長はじめ、市男女共同参画課のみならず、女性議員、他の女性団体や多くの市民の方々がご来場下さいました。</p> <p>独自に作ったアンケートにもたくさんの力強いご意見をいただきました。映画に関しては、「先輩たちの闘いがあった得た参政権、選挙を大事にしたい」「自分の権利を大切に、女性が更に目覚めていくようにしたい」「女性の活動が今につながっていると強く思った。」等々。女性たちの活動に関しては、「男女共同参画事業に期待」「女性が虐げられていても当たり前と受け止められていることが多い、女性たちの活動は意義深い」「女性はもっと意識を高く」「私もできることを探したい」等々。</p> <p>また、30年間続けてきた事にご賛同いただき、今後も頑張ってもらいたいと、「未来へむけて共に歩もう」のテーマに沿った激励の言葉もありました。</p>	



主催：劇団 blue ジーンズ	協賛事業
演劇 みなと女一揆 ～廓に生きた女たちのご案内帳～	11/11 (日)
「みなとまち新潟」市民団体等活動助成金事業	
<p>「劇団blueジーンズ」は、2007年に立ち上げて今年で12年目を迎えます。毎年女性を取り巻く問題や女性達の生き方をジェンダーの視点で考えてきました。この度、アルザフォーラムと開港150年記念事業の参加団体としてかつて、みなとまち新潟に暮らした、遊廓の女性達の生き様を創作劇としました。貧しさ、家族を支えるため10代で売られてきた女、連れ合いの借金を背負う女、様々な境遇に置かれた女たちに思いを馳せ、昭和5年から昭和33年の売春防止法施行までの物語です。私達は芝居の稽古に入る前、新潟市主催の「街歩き えんでこ」に参加し、下町の神社や寺、新潟が栄えてきた昔の記録、港や川の成り立ち、そして、現在下町に暮らす方々からの聞き取りなどを得て、当時の廓に生きた女性たちのことを知ることができました。3会場での開催で延べ430人と大勢の方々から足を運んでいただきました。</p> <p><アンケートから></p> <ul style="list-style-type: none"> ・声も迫力があり、情景が迫ってきました。新潟港町を支えてきた女たちの歴史を知ることができ、いろいろ考えさせられました。 ・とても引き込まれ見入ってしまいました。当時の女の生き方、その苦勞、辛さに思いをはせました。もう一度観たい。 ・笑えるところも多いのですが、売春問題を考えさせられました ・泣きました。感動をありがとうございました。 ・感謝の一言です。(92歳) <p>当日、足を運んでいただきました皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	



主催：NPO法人 新潟フェミニストカウンセリングセンターまど	協賛事業
子どもの声を聴く ～DVや虐待が子どもに及ぼす影響からの回復～	11/11 (日)
講師：井上摩耶子さん（認定フェミニストカウンセラー ウイメンズカウンセリング京都代表）	
<p><目的> DVや虐待などの逆境的家庭環境で育つ・育ったことはその人の人生にはかりしれない影響を与える。早期に適切な養育支援や啓発を提供する事でDVや虐待の連鎖を防止する。</p> <p><内容> DVや虐待はジェンダー差別の中で起こっている。フェミニスト・トラウマカウンセリングでは、被害者にジェンダー教育を最初に行う。その目的はエンパワメントである。ジェンダー教育は被害者だけでなく子どもにも加害者にも必須の心理教育であると力説され、カウンセラーとして伴奏した2人の事例を紹介された。若い2人はトラウマカウンセリングの3段階（基本的安全感の回復→外傷物語の再構築→サバイバーの社会的回復）を経て、1人は「DV家庭で育って世界が広がった」と発言するまでに成長し、現在DV子どもケアを研究している。両親のDV関係を見聞しながら育ったもう1人の女性は、男性から凄まじいDV被害を受けていたが「DV父」との対決と自立を果たし今は別の人生を歩いている。2人のもう一つの物語は小児期逆境後遺症候群からの回復の事例として当事者にも支援者にも勇気と希望を与えた。参加の皆さんのテーマへの関心と期待の大きさを感じた。</p> <p><感想> DV、PTSDなど基礎的な事が丁寧な説明で分かり易く、新しい支援のヒント、アプローチ方法、カウンセリングの具体的な進め方がとても参考になったという感想が複数寄せられた。更に「私を再構築するために必要な講座であった」や「無意識でも誰にでも立ち上がろうとする力はあると思う」等の力強い感想も頂いた。</p> <p><その他> 事前申込み手続きがスムーズに行くよう、アルザで一括取りまとめシステムのご検討をお願いしたい。</p>	



各区協賛 男女共同参画推進事業 各区の男女共同参画推進員による企画です。

北 区

知ろう！作ろう！葛塚まつり！

男性主体で行われている地域のまつりに女性が参加しにくい状況に着目し、葛塚まつりについての講義と灯籠づくり体験を通して、女性の地域活動への参画拡大を図りました。



2018/9/1(土)豊栄地区公民館、灯籠づくり会場

東 区

親子で体験！サバイバル講座

性別による役割分担意識に捉われず、普段の生活から非常時に至るまでいざという時に役に立つ防災の備えを親子で体験するとともに、普段から家族全員が家庭に参加しコミュニケーションを取っておくことの大切さを学びました。



2018/11/3(土) 寺山公園「い〜てらす」

中央区

知って広げよう！わたしたちの未来

6年生とその保護者を対象に、男性のイメージ、女性のイメージの強い職業の方を招いて、その職業に就いた理由や仕事のやりがいなどを聞き、性別にとらわれない職業選択や固定観念への気づきに繋がりました。



2019/2/1(金) 関屋小学校

江南区

パパママ感謝の木プロジェクト

若い子育て世代に向けて、男性の育児休業の意義をパネル展示で伝えるとともに、パパ⇄ママへの感謝の言葉を桜のふせんに書いて貼り、感謝の花を咲かせました。さらに夫婦の家事分担比率の理想と現実を調べ、夫婦間での気づきに繋がりました。



2018/11/23(金)～30(金) アピタ新潟亀田店

家族の時間を増やそう こんな暮らしがしたいを叶えるかたづけ術

江南区は子どもが小さい子育て世代が多いという特徴に着目。子育て期間の大変な時期に、家事の負担を減らし家族の時間を増やそうと「かたづけ」に焦点を当て、自分たちの理想の暮らしに合ったかたづけの方法や効果などを学びました。



2018/12/15(土) 江南区文化会館

秋葉区

出張「パパサロン」パパも子どもとの遊びを知ろう！

カラダを使った遊び術講座&asobi 基地

子どもを預けられてもどうやって遊んだらいいかわからないパパをターゲットに、男性の育児参加を推進するために不可欠な子どもとの遊び方を学ぶとともに、自分の気持ちを素直に伝える事によって相手とのコミュニケーションを好循環にすることも学びました。



2018/12/1(土) 新津健康センター

南 区

気軽に楽しむ手作り餃子

老若男女を問わず、気軽に楽しく作れる料理を通じて、男女共同参画に関するトピックスを交えながら、男らしさや女らしさといった無意識の固定観念への気づきに繋がりました。



2018/11/11(日) 白根健康福祉センター

男にとっての終活 女にとっての終活

少子高齢化や核家族化が進み、家族のかたちも変わりゆく中、墓をめぐる家族の様々な問題をとおして、自分らしい最期を迎えるために、今から自分自身ができることを考えました。



2019/1/20(日) 白根健康福祉センター

西 区

いつも笑顔でいるために 今、知っておきたい護身術

体力に自信のない子どもや女性などを対象に、犯罪に巻き込まれないよう自衛手段を学ぶ護身術教室を通して、地域で安心して暮らせる環境づくりに繋がりました。



2018/10/13(土) 黒崎市民会館ホール

西蒲区

災害時にも役立つ！女性向け簡単アウトドア講座

平日の日中に災害が起きた場合、地域にいるのは女性であることに着目し、ライフラインが使えない時に、アウトドアの用具と知識は災害時の強い味方になることを学びました。



2018/10/27(土) 角田地区コミュニティセンター

ひろば

保育室

アルザにいがた保育室で、子どもたちの保育を担当しました。私たち保育グループ秋桜は、いつも「保育室は子ども達にとっても学びの場である。」と心掛け保育をしています。フォーラムにおいても、いつもとかわりなく保育にあたらせていただきました。

写真展「スウェーデンのパパたち」

写真家ヨハン・ベーフマン氏が撮影した育児休業中の父親の姿を 25 点の写真と文章で紹介しました。



新潟市行政相談委員協議会パネル展示

主催：新潟市行政相談委員協議会

期間中、国の行政等に関する相談の流れ・仕組みなどをわかりやすいパネルで展示をし、ポケットティッシュの配布を行いました。また、11月14日（水）には、ビデオ上映で総務省の行政相談を知っていただくためのPR活動や、困りごと相談も行いました。



新潟人権擁護委員協議会パネル展示

主催：新潟人権擁護委員協議会

アルザフォーラム期間と同時期に実施されている「女性の人権ホットライン強化週間」の広報活動をかねて、人権擁護委員の活動をお知らせする展示を行いました。また、11月10日（土）には、女性の人権に関する相談も行いました。



DVD上映会

マイ・インターン 11月17日（土）10：00～
万代市民会館 6階 多目的ホール

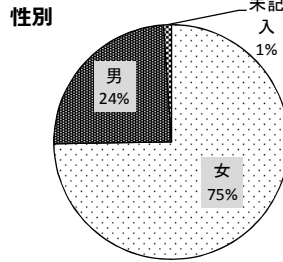
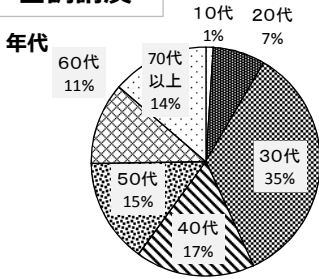


アルザフォーラム 2018 参加者数のまとめ

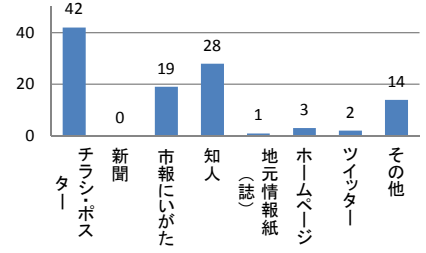
催し物	参加者（人）			スタッフ（人）			保育室	合計
	男	女	計	男	女	計		
基調講演	26	81	107	5	24	29	18	154
分科会 1	4	29	33	0	14	14	3	50
分科会 2	-	-	200	3	3	6	0	206
DVD 上映会	8	24	32	2	7	9	4	45
ワークショップ (21 企画)	47	181	228	27	102	129	7	364
協賛事業 (3 企画)	-	-	328	-	-	42	0	370
計	-	-	928	-	-	229	32	1,189

アンケート結果

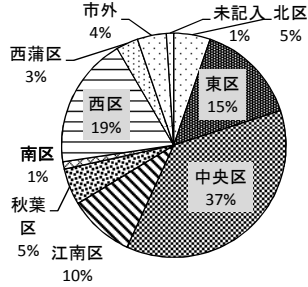
基調講演



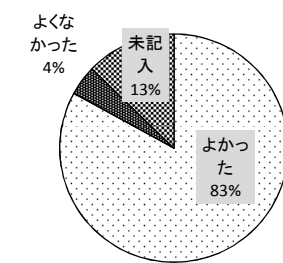
何で知ったか (複数回答)



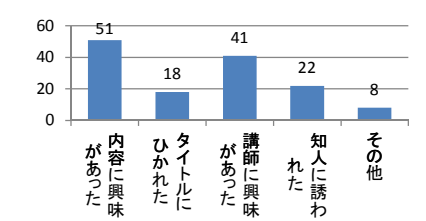
地域



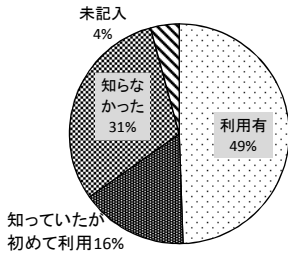
満足度



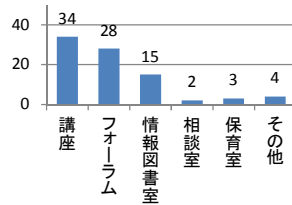
参加動機 (複数回答)



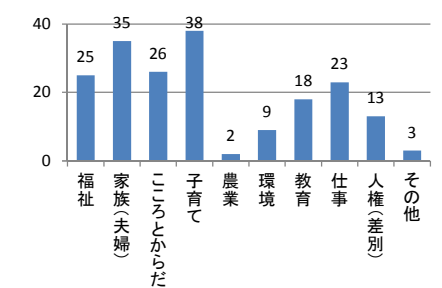
「アルザにいがた」を知っていたか? 利用したことはあったか?



「利用あり」の内訳

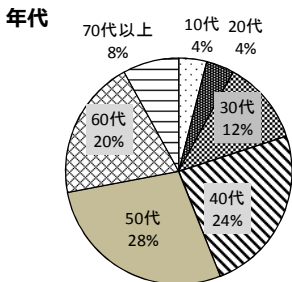


次回取り上げてほしいジャンル (複数回答)

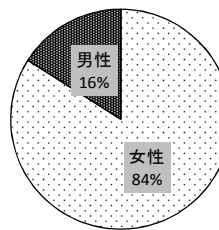


【感想】 ■多様な考え方に触れることができた。
■対談を通してリアルな気持ちを知ることができた。

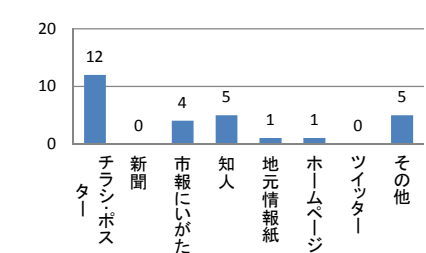
分科会 1



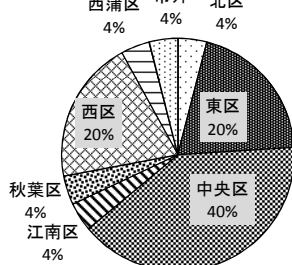
性別



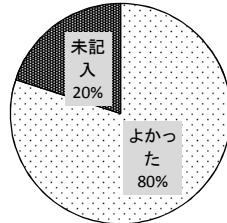
何で知ったか (複数回答)



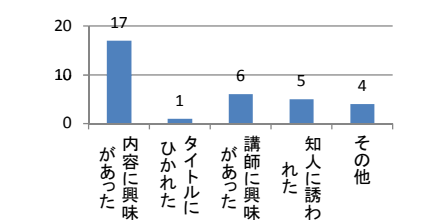
地域



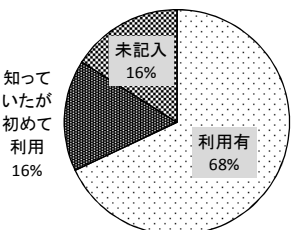
満足度



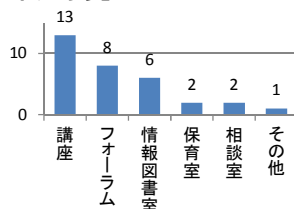
参加動機 (複数回答)



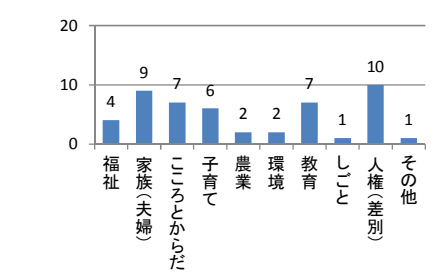
「アルザにいがた」を知っていたか?利用したことはあったか?



「利用あり」の内訳

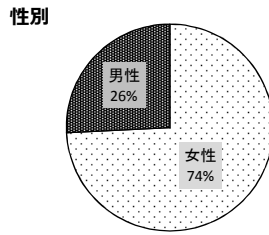
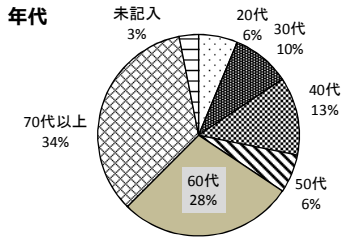


次回取り上げてほしいジャンル (複数回答)

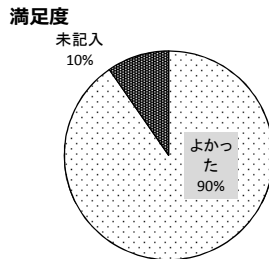
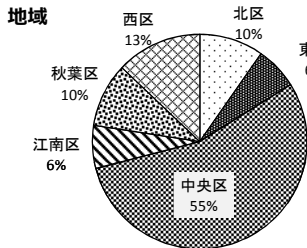
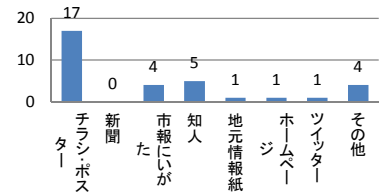


【感想】 ■性教育は専門家による教育が必要だと思った。

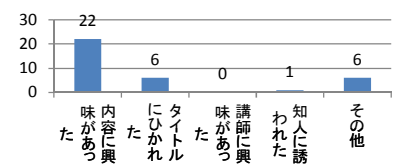
DVD上映会



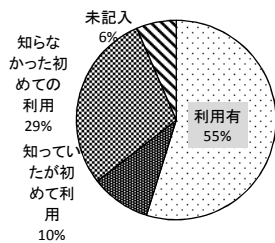
何で知ったか (複数回答)



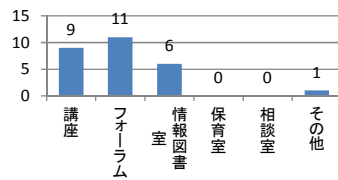
参加動機 (複数回答)



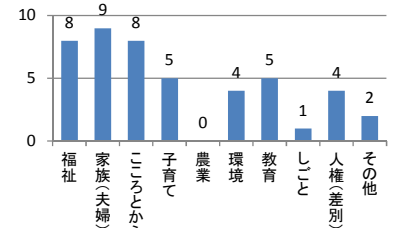
「アルザにいがた」を知っていたか?利用したことはあったか?



「利用あり」の内訳

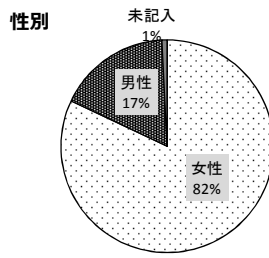
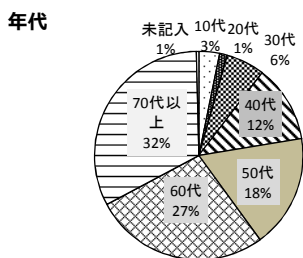


次回取り上げてほしいジャンル (複数回答)

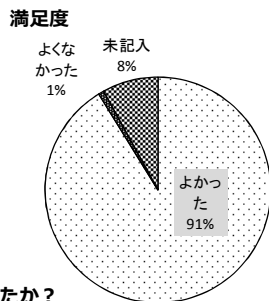
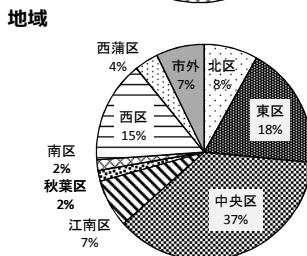
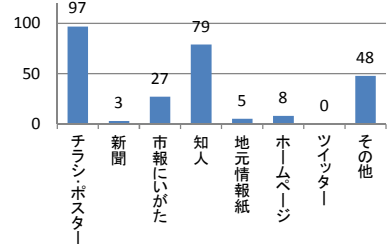


【感想】 ■女性活躍の視点で作られた素晴らしい映画でした。
■保育付きで良いと思います。

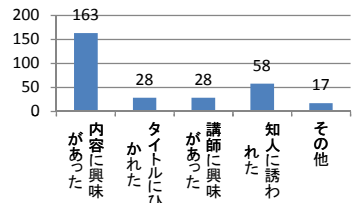
ワークショップ



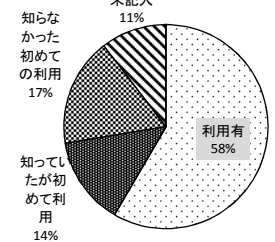
何で知ったか (複数回答)



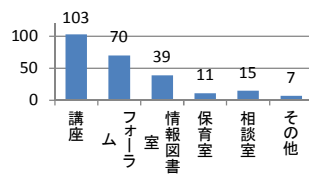
参加動機 (複数回答)



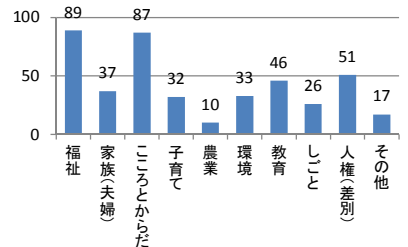
「アルザにいがた」を知っていたか?利用したことはあったか?



「利用あり」の内訳



次回取り上げてほしいジャンル (複数回答)



分科会 2 参加学生の感想

- ・「好きなこと」と「得意なこと」を掛け算するという方法は初めて聞いた。自分が好きなことは何なのか、自分が得意なことは何なのか、何がしたいのか、まずはこれらについて考えたい。
- ・私は失敗することを恐れたり失敗した時のことを考えてしまい、なかなか最初の一步を踏み出すことができないことが多々ある。しかし若いうちにたくさん失敗することで、その分強さを得ることができるのだとわかり、今後いろいろなことに恐れずに挑戦していきたいと思った。
- ・成功の反対は失敗ではなく、やらないことだと言う言葉は自分の胸に響いた。これまでの人生でも、どこかやりたいこと、言いたいことがあっても遠慮してしまっていたことがあると思う。しかし、人生は一度きりで失敗は成功のもとという言葉もあるように、これからはどんどん挑戦して、たくさん失敗を積み重ね、その上で成功できるように生きていきたい。失敗の上になる成功が一番カッコいいと思った。
- ・仕事と家事、育児、社会参加を両立することで、人生は豊かになるな、と思った。
- ・夫婦共働きの世帯も増えてきており、今後ますます女性が男性同様に活躍していける社会になっていくと思う。男性だけの力ではなく、女性ならではの発想力や感性が場面に応じてうまく使い分けられていることは企業としての力になると思うし、家庭においても男性の力が必要な場面が多くあると思う。だからこそ、男女共同参画が促進され、男女の枠にとらわれずに一人一人が多様性を持つことが大切だと改めて実感した。
- ・川島先生の「あなたは、自分人生という会社の社長」という言葉を聞き、他人に流されずいつでも自分らしくいたい、自分らしさを常に大切にしたいと改めて思うことができました。
- ・イクメンが注目され、急増したとも言われますが、父親と母親の育児時間、家事時間の差は大きく異なり、平等ではないと思いました。少しでも育児・家事を手伝えよというのではなく、母親と父親が平等に行うことが求められているのではないかと思います。
- ・正直私は、「男性が子育てに参加することを社会が褒める」という構図を表すイクメンという言葉が大嫌いです。しかしこのイクメンという言葉は日本の子育てが男女平等ではない事を如実に表しており、子育て＝女性といった潜在的意識を改めるきっかけとなる材料のうちの一つであることも事実です。今回の講義では育休産休に関する法律についてのお話はありませんでしたが、これらを充実させるための会社の立場やイクボスの義務についてもっと知りたいと思ったため、自分なりに調べてみたいと思います。
- ・後半の講義で説明された、「正解を選択しようとするのではなく、自分の選択を正解にする。」というサッカーの長友選手の言葉が大変印象に残った。実際になにかに失敗しても、そこでその選択が間違いだったで終わるのではなく、その選択が正解だと思うまでそのなにかについて見つめ続けることだと解釈できる。これは私が今まで持っていた感覚・考え方を180度変えたと思うくらい衝撃的な言葉だった。

実行委員の感想・反省

アルザフォーラムに携わるのは今回が初めてでした。結婚・妊娠を機に退職をし、出産後の2017年に転勤で新潟に越してきて以来、新しい土地で日々育ててに専念しながらも、「社会との繋がりが欲しい」と思っていたところにお誘い頂いたのがきっかけでした。

基調公演におけるゲスト選定・コンテンツ案など、前職で経験したことのない貴重な体験をたくさんさせて頂きました。至らない点多々あったかと思いますが、このアルザでの経験を糧に、次のステップについて考える良い機会となりました。本当にありがとうございました。

(前田 真理子)

講師としてお招きした犬山さん劔さんご夫妻がとても素敵なお二人で、対談もおもしろく、ご来場いただいた皆様からも好評を得ることができ、とても有意義な基調講演にすることができました。企画の段階でターゲットとした、結婚・子ども・仕事などに悩んでいる30代~40代の皆様に、多くご参加いただけたのも良かったです。

とても良い内容だったので、より多くの方々に来ていただけたら、なお良かったと思っています。

今回、実行委員として初めて参加させていただきましたが、このような素晴らしい経験ができましたことを、関係各位の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

(菅井 佑美子)

アルザフォーラムは、ワークショップに参加したことがあったものの、今年は実行委員として初めて参加させていただきました。

他の委員の方や職員の方と共に、意見を出し合っ一つ一つフォーラムを作り上げていくことは、とてもやりがいがありました。基調講演のテーマを探る中で、今、どんなことが話題になっているのかということに興味を広がり、社会情勢やニュースにも敏感になりました。また、これまで表面的な知識はあっても、深く考えてこなかった事柄についてじっくり考えることで、改めて自分なりの価値観や想いに気づくことが多々あり、新鮮な体験となりました。大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

(鴨井 理紗)



写真左から

菅井 佑美子 / 前田 真理子 / 鴨井 理紗

アルザフォーラム実行委員会規約

(名称)

第1条 本会の名称は、アルザフォーラム実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(所在地)

第2条 実行委員会は、新潟市中央区東万代町9-1万代市民会館内に置く。

(目的)

第3条 実行委員会は、1985年から毎年開催されてきた「にいがた女性大会」を引き継ぎ、新潟市男女共同参画推進条例に基づき、女性も男性も個性と能力を十分発揮できる社会について、広く市民に啓発し、問題の解決を進める「アルザフォーラム」の企画・運営をすることを目的とする。

(事業)

第4条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) アルザフォーラムの企画に関する事
- (2) アルザフォーラムの運営に関する事
- (3) その他、前条の目的を達成するために必要な事

(構成)

第5条 実行委員会は、公募や団体・グループ等から推薦される個人及び新潟市で構成する。

(任期)

第6条 委員の任期は、当該年度の第1回の実行委員会の日から第3条の目的が達成する日までとする。

(役員・役員を選任)

第7条 実行委員会を運営するために、委員の互選により代表1名、副代表1名を置く。

- 2 代表は、実行委員会を代表し会務を統括する。
- 3 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときはその職務を代行する。なお、それぞれに事故あるときは、あらたに委員の互選により選出する。

(会計監査)

第8条 実行委員会の会計を監査するために、委員以外の会計監査2名を委任する。

(顧問)

第9条 顧問は、実行委員会の承認を得て代表が委嘱する。
2 顧問は、実行委員会の会議に出席し、意見を述べることができる。

(会議)

第10条 実行委員会は、過半数を以て成立する。なお、緊急の場合はこの限りでない。

(事務局)

第11条 実行委員会の事務局は、新潟市市民生活部男女共同参画課に置く。

(委任)

第12条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、実行委員会において協議して定める。

(附則)

この規約は、2005年4月1日から施行する。
この規約は、2006年4月1日から施行する。
この規約は、2007年4月1日から施行する。
この規約は、2008年4月1日から施行する。
この規約は、2009年4月1日から施行する。

ご協力くださった皆さん

運営協力	
【保 育】保育グループ秋桜 【手話通訳】村上 清子さん 岡田 恵子さん 【要約筆記】北 久美子さん 玉本 智恵さん 吉崎 貞子さん 【音響・照明】オフィスサイトウ	
事業協賛	
いいがた女性会議 劇団 blue ジーンズ	NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンターまど
ワークショップ	
NPO 法人 日本ファシリテーション協会新潟サロン イキイキ健康ふれ愛クラブ元気塾 Mia 放送大学心理臨床研修会・新潟 カトレア会 NPO 法人 ライフ・アクセス 2 1 NPO 法人 健康生きがいづくり新潟 NPO 法人 子ども・人権ネット CAP・いいがた NPO 法人 ウィメンズサポートセンターにいがた 一般社団法人 国際女性教育振興会新潟県支部 ホワイトボードミーティング®チーム新潟	わいわい夢工房 NPO 法人 女のスペース・いいがた 新潟県カーリンコン協会 いいがた女性会議 男女平等教育部会 新潟市消費者協会新潟支部 NPO 法人 ワーキングウイメンズアソシエーション 劇団あかつき いいがた女性会議 介護・自立部会 いいがた女性会議 子どもの人権・子育て支援部会 NPO 法人 新潟キャリアコンサルタント協会
広告協賛	
有限会社 木場商店 クラウドライブ・ジャパン/ファザリングジャパンにいがた 新潟みなと法律事務所	一般社団法人 国際女性教育振興会新潟県支部 いいがた女性会議 保険システム 株式会社
後援	
新潟日報社 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 日本経済新聞社新潟支局 産経新聞新潟支局	NHK 新潟放送局 BSN 新潟放送 N S T TeNY テレビ新潟 UX 新潟テレビ 21 エフエムラジオ新潟
	FM PORT 79.0 FM KENTO ラジオチャット・エフエム新津 エフエム角田山ぼかぼかラジオ

協力してくださった皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

実行委員

前田 真理子 菅井 佑美子 鴨井 理紗

2019年3月発行

編集・発行 アルザフォーラム 2018 実行委員会
 事務局 新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」内
 〒950-0082 新潟市中央区東万代町 9-1
 TEL 025-246-7713 FAX 025-246-8080
 E-mail alza@city.niigata.lg.jp
 URL <http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza>